

# 令和元年度 砂川市「春薬柳」 栽培管理記録【そらち森林組合 管理地】

■植林面積（全体面積＝170.8㎡ 51.7坪） W:13.0M×D:18.0M 【 標高：100M 】

●各部位 PH調査 / 植込み実施 ■全体森林面積①→0.1ha（内：0.017ha）

春薬柳栽培試験	日付	令和 元年 11 月 6 日	天気	曇り	気温	5.0℃
定植日	日付	平成 30 年 5 月 17 日		1 年半木		507 日目

敷地サイズ：W＝13.000mm×L＝18.000mm（変形地）（畝＝7列×8本～17本＝100本）

■春薬柳 <成長記録> ※カラー→生育状況を表す

	標準		標準良		良好		鹿の捕食		枯れ
--	----	--	-----	--	----	--	------	--	----

●砂川山林 管理地分→定植時「春薬柳」100本分

●現場定植時→≒80cm

凡例：赤色→枯れ・無

総数 / 生育率(85%)

1	69 cm	78 cm	113 cm	80 cm	56 cm	49 cm	55 cm	65 cm	枯れ	42 cm	18	15
2	90 cm	枯れ	88 cm	68 cm	84 cm	58 cm	22 cm	41 cm	65 cm	71 cm	17	16
3	180 cm	90 cm	枯れ	80 cm	115 cm	132 cm	65 cm	58 cm	70 cm	79 cm	17	15
4	112 cm	69 cm	43 cm	66 cm	60 cm	92 cm	54 cm	66 cm	68 cm	26 cm	15	12
5	83 cm	30 cm	65 cm	24 cm	40 cm	枯れ	76 cm	77 cm	27 cm	45 cm	15	12
6	58 cm	65 cm	43 cm	12 cm	29 cm	枯れ	38 cm	38 cm			10	9
7	枯れ	20 cm	枯れ	枯れ	9 cm	14 cm	35 cm				8	6

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

100本→86本

上側→西写斜面

下側→南斜面

■前回調査からは樹木1/3程度の鹿捕食があった。※特に鹿道で被害多発

地面から10cmから上部を食い荒らした後も新芽枝が成長しており回復力と再生が確認できた。

●育林俯瞰

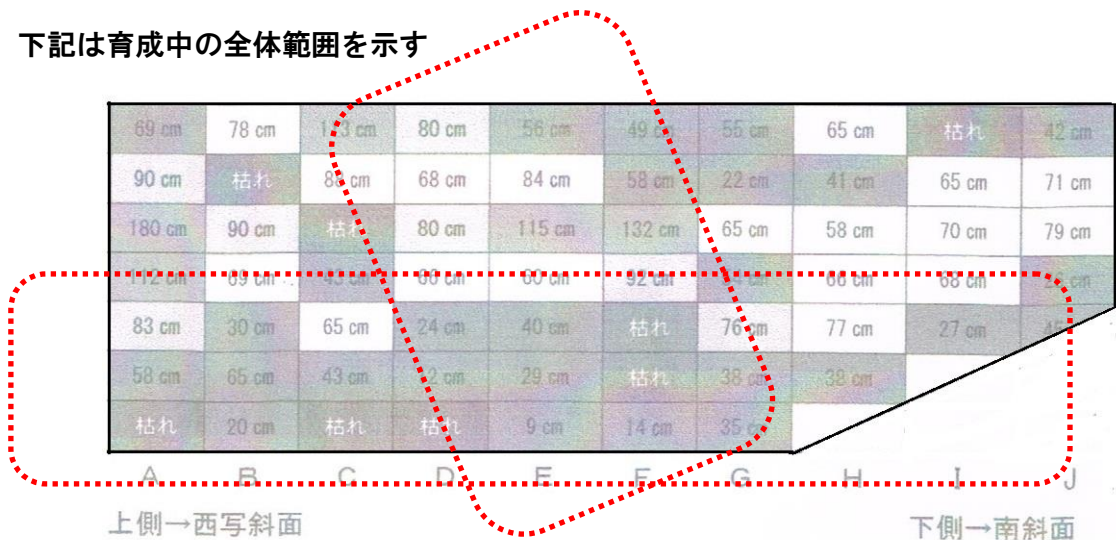


新芽成長

◆オガッター散布（外周部に手巻き3Kg散布）

●食害後の再生（新枝が成長）

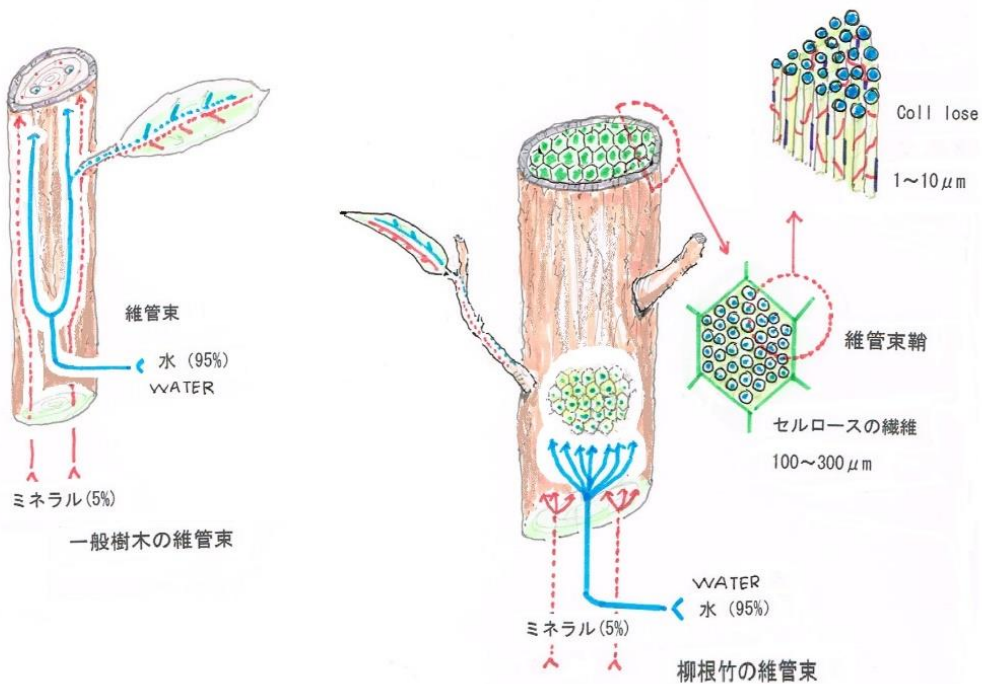
下記は育成中の全体範囲を示す



..... 点線部分は鹿道を表す（伐採時の林道位置が鹿道で被害あった）

■ 考察

- 前回調査から半年後の育成調査である。前回からの樹木増減は無いが数本再生がみられた。
- 越冬後2年目のシーズンになり根の定着がしっかりしはじめた。斜面は粘土質土壌により平野部の土壌と比較し成長が鈍化しているが平均的高さは約60cm以上から1M以上に成長。
- 夏季シーズンであるが、鹿による捕食が1/3程度の被害があった。  
定着後の根ごとの引き抜きは無いが被害以降も新芽、新枝も再生して成長いることから、初期育成段階では上部だけを食い荒らすことが考えられる。防止策として植樹時ビニールパイプを立てる事で初期被害を大幅に軽減できる。



「春薬柳」幹の横断面イメージ